

小学校の部 最優秀賞

はじめの一步は私

大田市立大田小学校 6年

平井 梨花（ひらい りんか）

私には、今と将来、やりたいことがあります。経験からたくさん考え、学んだからです。

以前の私の毎日は、友達ともめごとをおこすことをくり返していました。相手の態度や言葉で「にらんできた」「きつい言い方をした」と、すぐに腹を立てて言い返したり陰口を言ったりして、毎日が楽しくありませんでした。もちろん、相手がいなくなったらどうしようなんて考えてもいませんでした。

ある日、テレビを見ていると、いじめを受けた女の子が自死したというニュースをやっていました。女の子のお父さんが学校や先生にものすごく怒っている姿を見て、私は何をやっているんだろう、もしけんかした相手が死にたいと思うほどなやんでいたらどうしよう、と胸がぎゅっと痛くなりました。そしてもし自分がその子の親だったら、早く気づきたかった、今すぐあの子に謝りたいと思うだろう…などと、様々な思いがめぐりました。

けんかをした相手のことをお母さんに相談すると、一緒に考えてくれました。その友達は、もしかすると本当は仲良くしたいのではないかな、でも、どうやって関わったら良いか分からないんじゃないかな…と。そう思ってみると、確かにそう思うことがありました。でも、その頃の私は相手の態度に腹が立つばかりで、なかなかその毎日から自分で抜けだそうとすることができていませんでした。

仲直りできないまま、新しい学年になってすぐ、クラスのみんなについて作文を書きました。私は自分がしたいいけないことを正直に書きました。そして「もっと友達と仲良く笑顔のクラスにしたい」と書きました。クラスのみんなの作文にも、反省したことやもっと良い自分になりたいという思いがたくさん書かれていたと先生が教えてくださいくださったので、みんなの心を知らなかったけど、私と同じ思いの人がいっぱいいるんだと分かりました。先生から、人の気持ちについてたくさん話を聞いて、家族ともたくさん話し合って、私は少しずつ自分の気持ちを言葉にできたり、人の気持ちを考えられたりするようになってきました。

クラスの中に、たとえば自分一人だとしても、正しい行動をしてくれ

ている友達がいることにも気づきました。ふつうのことがふつうにできることがすごいと思っただし、私もそうなりたいと思って、勇気をもらいました。

けんかをしてしまった友達とも元通りになりたくて、自分からきっかけを作ろうと決めました。ずっと話してなかったからすごく勇気がいったけど、話しかけたら答えてくれて、笑顔を向けたら笑顔も返してくれました。私はその時、「はじめの一步をつくるのは私なんだ！」と思いました。

今の私は学校が楽しくなっています。それに、勉強が分からない子やトラブルで困っている子がいらないような未来を作りたいという夢ができました。そう思う人がもつと増えるように、今学校で「友達プロジェクト」というのをやってみたいと思っています。クラスの中に「最近友達と話していないな」と思う友達がいたら、友達同士をつないで関係を作っていくのです。でも、無理やり話そうと言われても逆に困ってしまう人もいるかもしれません。そういう時の解決方法は、授業の時間に四・五人のグループで話し合いをすることです。授業の中だと話題が決まっていて、お互い共感できることがあるかもしれないし、話すと互いの考えが分かって楽しくなりそうです。もつとも

つと考えてみたいです。

私の将来の夢は、学校に行きにくい子が分かりやすく楽しく学べるように家で一緒に勉強したり、学校に行きにくい子が安心して学校に行けるようにサポートしたり、学校に行きたいと思うようなやみを解決したりするような仕事をする事です。

「はじめの一步は私」なので、未来に向かって、今、行動していきたいです。